

『女を修理する男』を観て

特定非営利活動法人
アジア太平洋資料センター
事務局長 田中 滋



PARCのコンゴ民主共和国調査



- エシカルケータイキャンペーン実行委員として勉強会を重ねる
- コンゴ民主共和国および隣国ルワンダの国境地帯を2015年10月に取材
- ゴマ、ブカブなど東部地域の聞き取り調査と採掘地を訪問
- 教材DVD『スマホの真実－紛争鉱物と環境破壊とのつながり』を制作

『スマホの真実－紛争鉱物と環境破壊とのつながり』

監修：エシカルケータイキャンペーン実行委員会

監督：中井信介

取材・映像協力：国際環境NGO FoE Japan、環境＝文化NGO ナマケモノ倶楽部、Pole Pole Foundation、Fairphone、京都大学霊長類研究所

企画・制作：

特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター (PARC)

DVD／カラー／41分（6分・35分）／2016

本体4,500円＋税（図書館価格：本体15,000円＋税）

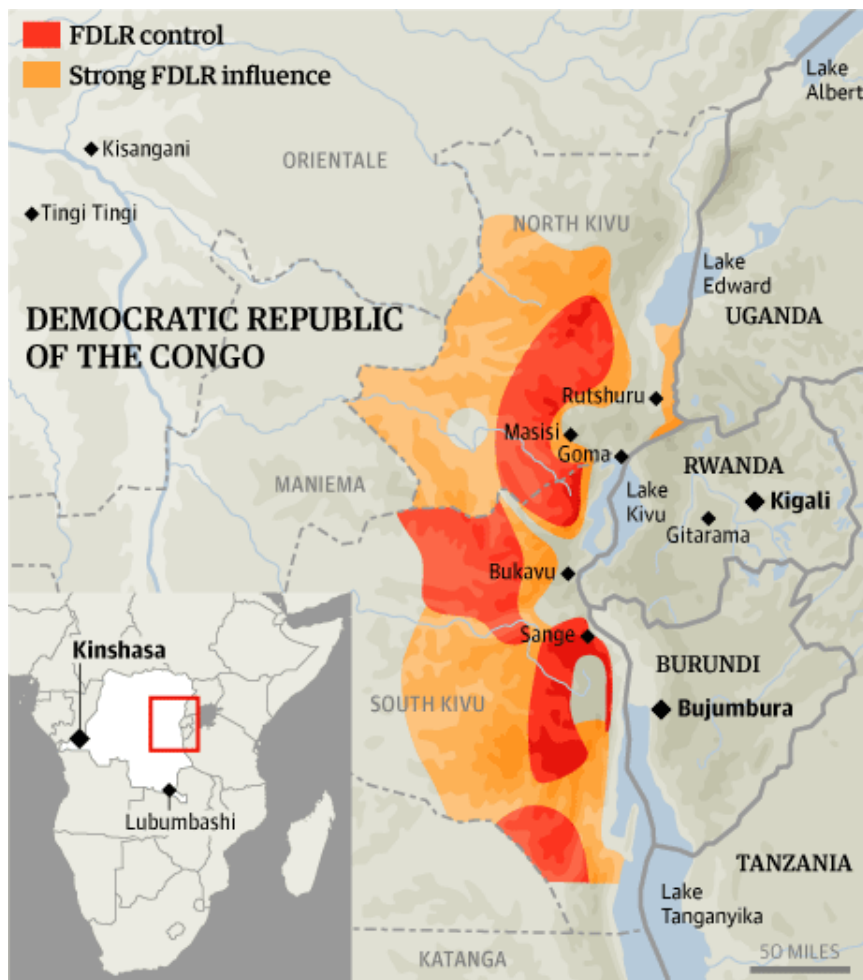
日本のケータイ・スマホにコンゴの紛争鉱物が入っているのか？

- 日本メーカーのパーツはオーストラリア・中国産の鉱物が割合として多いと言われており、そもそもコンゴ民主共和国の紛争に寄与していたかは**わからない部分**が大きい。
- **現在**では日本市場に**ほとんど入っていない**とされている。
 - 密輸など意図的に産地が隠されている場合は追及が難しく、**絶対に入っていないことが確認されているわけではない**。

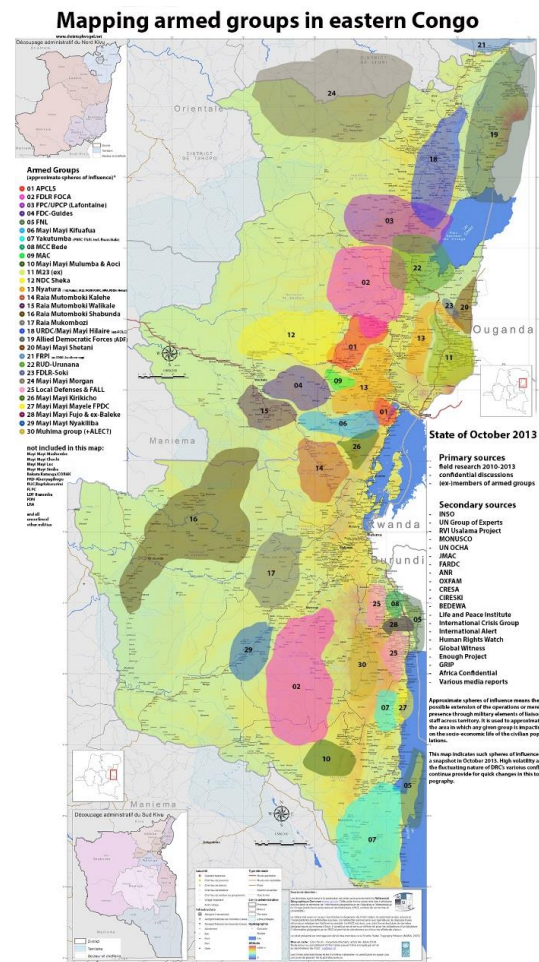
では何が問題か？

- 「今手元にあるケータイ・スマホに『紛争鉱物』が入っているか」は問題ではない
 - まだ使える端末を頻繁に買い換えるのは、環境負荷が高く、人権侵害への圧力を高める
- 「次に買うものにコンゴ産の鉱物が入っているか？」でもない
 - コンゴ産を避ければいい問題ではない
- 「次に買うものは、何に配慮がされ、どのような環境破壊・人権侵害を予防しながらつくられたものなのか？」が問題
 - サプライチェーンを理解して購入するか、あるいはサプライチェーンの管理について信頼に足る会社から購入する

2008～2013年における武装勢力の活動範囲

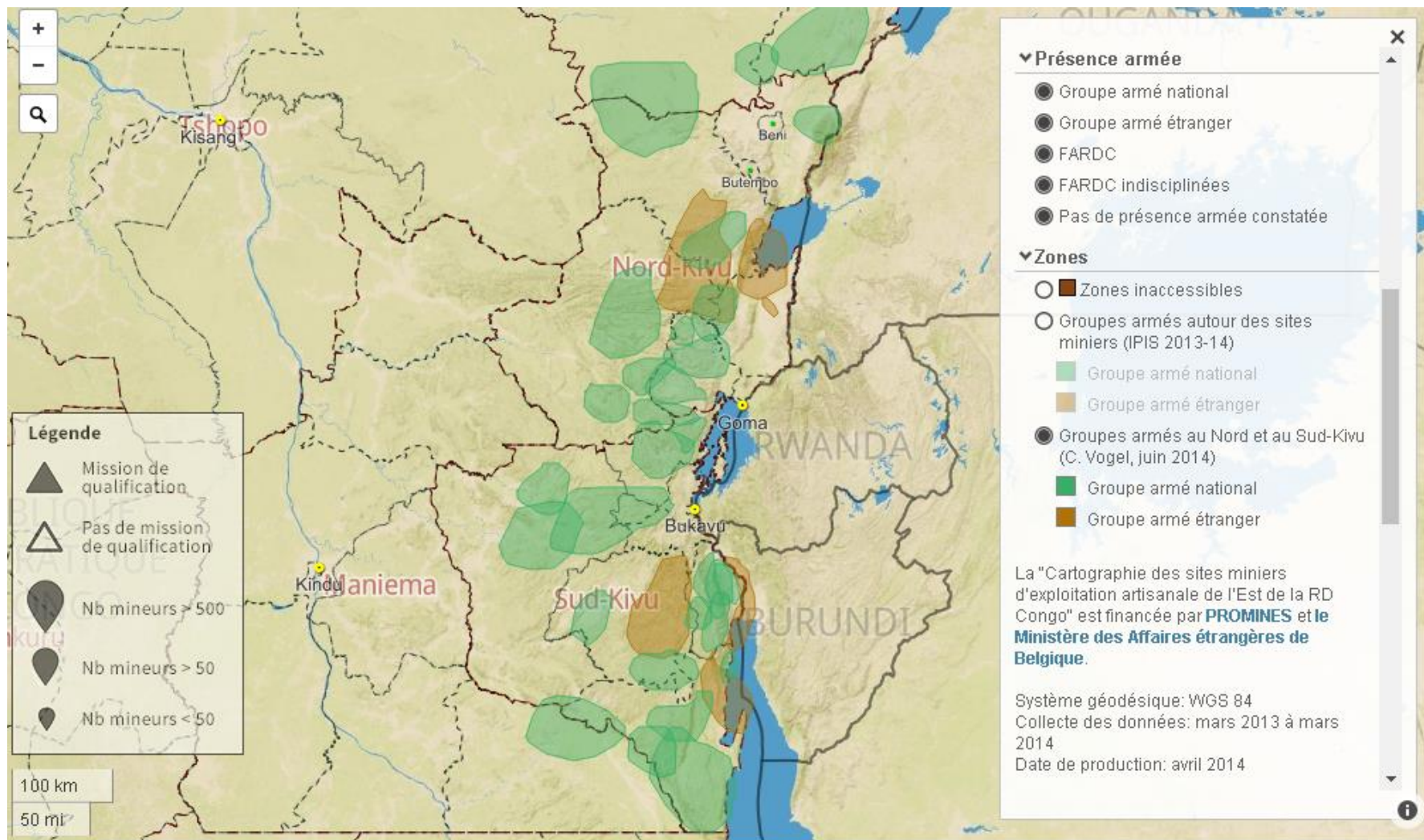


2008年Guardian紙掲載地図
ルワンダ開放民主軍の勢力範囲を示す



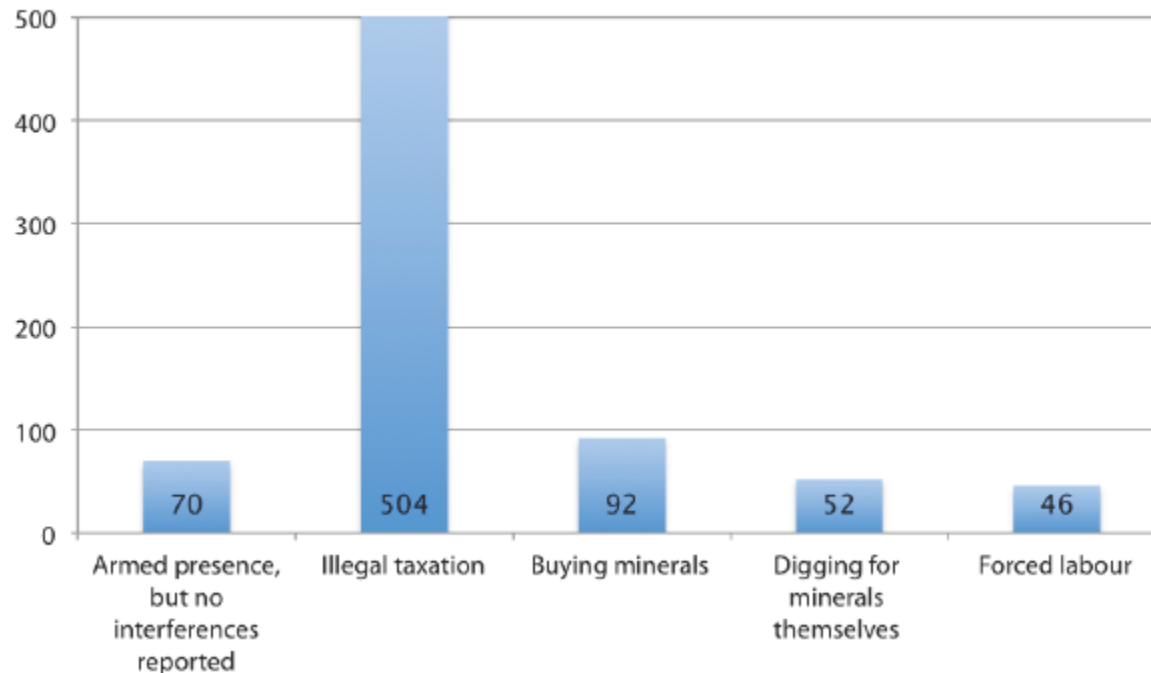
2010-2013 Christoph Vogel氏取材まとめ、
様々な武装勢力の勢力図

2014年4月時点の採掘への影響



武装勢力が直接鉱山を 占拠する事例は限られている

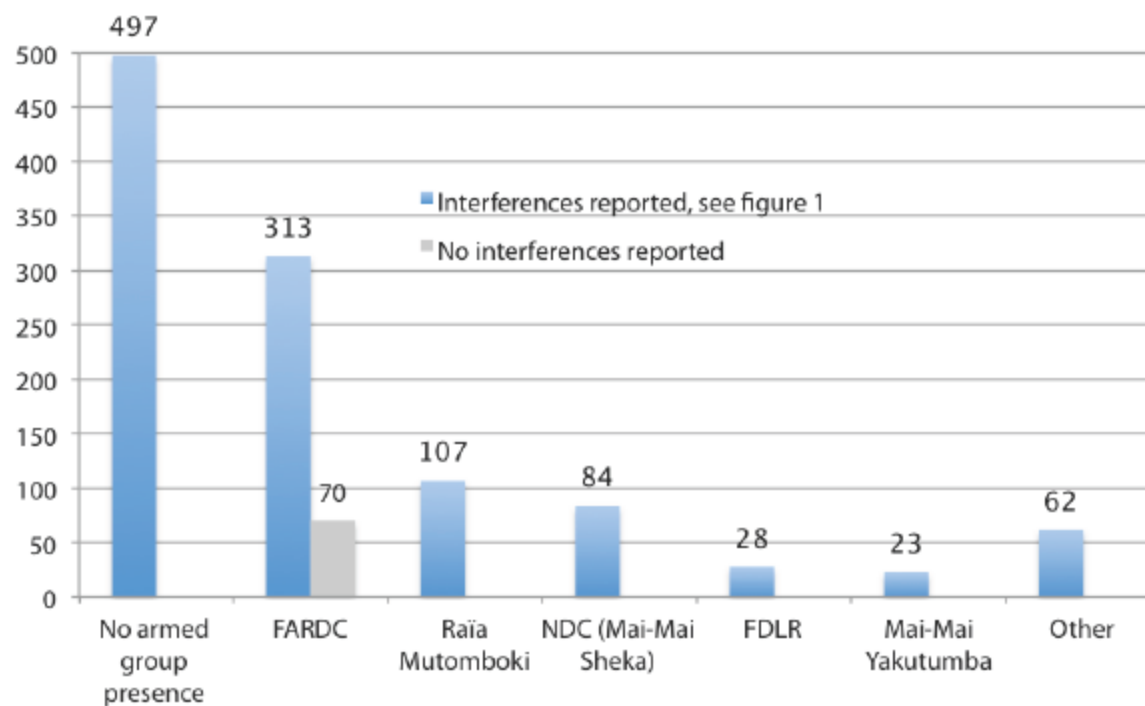
Figure 1: Reported Interferences



出典：IPIS "Analysis of the interactive map of artisanal mining areas in Eastern DR Congo: May 2014 update"
http://ipisresearch.be/wp-content/uploads/2014/04/20141031-Promines_analysis.pdf

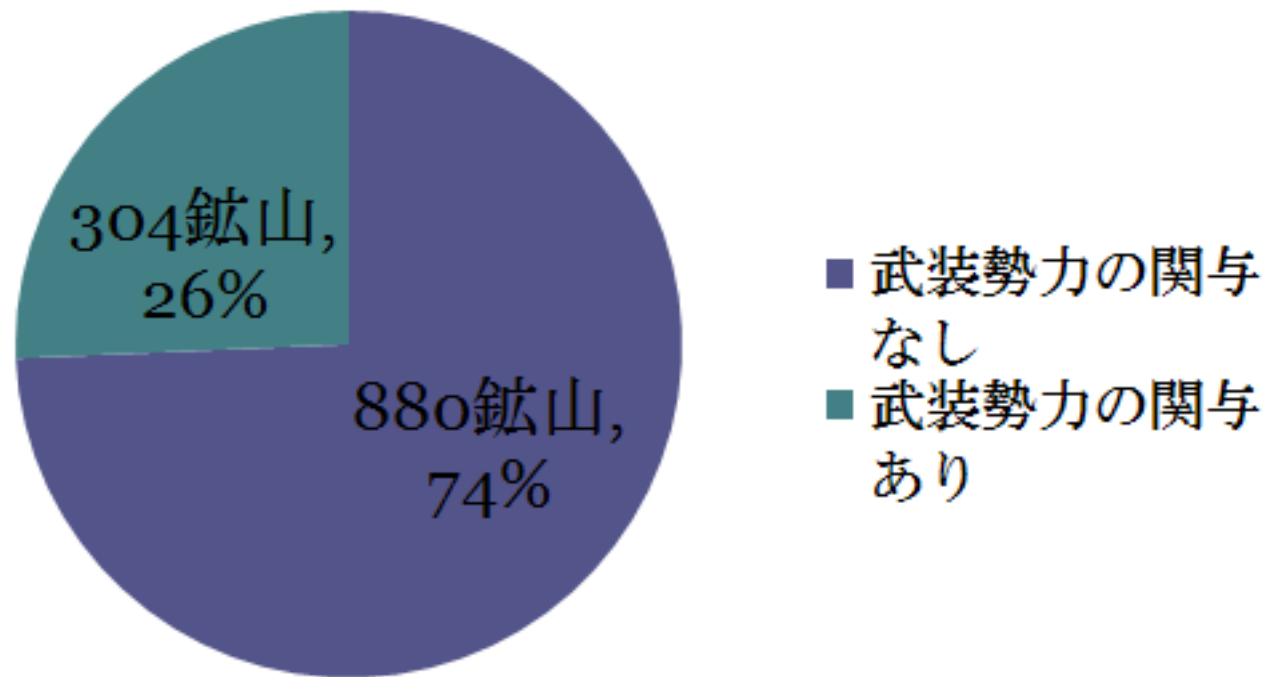
不正行為のほとんどは 国軍によるもの

Figure 2: Number of mines with armed group presence



出典：IPIS "Analysis of the interactive map of artisanal mining areas in Eastern DR Congo: May 2014 update"
http://ipisresearch.be/wp-content/uploads/2014/04/20141031-Promines_analysis.pdf

武装勢力の関与は いまでは 決して大きくない



IPIS "Analysis of the interactive map of artisanal mining areas in Eastern DR Congo: May 2014 update"を元に田中作成。※国軍による関与を「武装勢力の関与なし」に換算
参考：http://ipisresearch.be/wp-content/uploads/2014/04/20141031-Promines_analysis.pdf

考える軸を少し変える必要

- 武装勢力が鉱物を資金源にしている
≠ すべての鉱物売上が武装勢力に行く
- 性暴力が多くみられる地域
≠ 武装勢力がはびこる地域

情勢は刻一刻と変わる

- 2008年時点で有効だと考えられていた処方が現在も有効とは限らない
- 2010年にできた法律の有効性は現在激しく問われている
- 最新の状況を常に把握していく必要がある

映画をみて考えてほしいこと

- 「コンゴ産の鉱物を避けよう！」ではない
- 自分たちの手元にあるもののルーツについて、私たちはあまりにも知らないことが多いということ
- 自分たちの暮らしを作り上げるものが、どこのだれによるものなのか、知りたいという好奇心を持ってほしい
 - 知る喜びを感じてほしい
- 自分が知りえる立場になれば、その説明責任を追及してほしい

私たちの暮らしが世界のだれかを踏みにじらないことを目指しています



〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町1-7-11
TEL:03-5209-3455 / FAX:03-5209-3453
alter@parc-jp.org
<http://www.parc-jp.org/>

DVD 『スマホの真実—紛争鉱物と環境破壊とのつながり』 もご覧ください



『スマホの真実 —紛争鉱物と環境破壊とのつながり』

監修：エシカルケータイキャンペーン実行委員会

監督：中井信介

取材・映像協力：

国際環境NGO FoE Japan、環境＝文化NGO ナマケモノ倶楽部、Pole Pole Foundation、Fairphone、京都大学霊長類研究所

企画・制作：

特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター（PARC）

DVD／カラー／41分（6分・35分）／2016

本体4,500円＋税（図書館価格：本体15,000円＋税）